



募集馬コード

202217-1

# ミスペンバリー'22

Miss Pemberley '22

2022年3月25日生 牡馬 鹿毛 新ひだか産

入厩予定/美浦・鈴木慎太郎厩舎

総口数 2,000口

販売総額 ¥50,000,000

一口価格 ¥25,000

新規入会・ステップアップ特典

出資口数計4口まで競走馬出資金無料でご提供

竹内啓安氏による血統診断

オフィシャルサイトにて無料掲載中。ご参照ください。

## 賢母が送る最後の産駒、世界を魅了した兄パンサラッサに続け。

### 【父】レイデオロ Rey de Oro(内国産)

【競走成績】 2～5歳時、17戦7勝。2017年最優秀3歳牡馬、2018年最優秀古牡馬、日本ダービー(G1)、天皇賞・秋(G1)、オールカマー(G2)、同4着、神戸新聞杯(G2)、ホープフルS(G2)、葉牡丹賞、ジャパンC(G1)2着、有馬記念(G1)2着、京都記念(G2)3着、ドバイ シーマ クラシック(UAE G1)4着、皐月賞(G1)5着、宝塚記念(G1)5着

【供用履歴】 2020年日本にて供用

【種牡馬成績】 2021年産が初年度産駒

- ◆デルシエロ: 1勝
- ◆トロヴァートレ: 1勝
- ◆マテロウゴールド: 1勝
- ◆ラケダイモーン: 1勝
- ◆レイテラルース: 1勝
- ◆スノーライトニング: 1勝
- ◆カフェグランデ: 1勝

### 【母の父】モンジュー Montjeu(愛国産)

【競走成績】 2～4歳時、16戦11勝。1999年全欧3歳チャンピオン、凱旋門賞(仏G1)、愛ダービー(愛G1)、仏ダービー(仏G1)、キング ジョージ6世&クイーン エリザベスS(英G1)、サンクルー大賞典(仏G1)、タタソールズ ゴールドC(愛G1)、フォワ賞(仏G2)、ニエル賞(仏G2)、グレフェール賞(仏G2)

【供用履歴】 2001年愛国/ニュージーランドにて供用。2012年死亡

【種牡馬成績】 2004年英愛ファーストシーズンサイアーランキング2位、2005年仏チャンピオンサイアー、2005・2011・2012年英愛サイアーランキング2位、2007・2008・2009年英愛サイアーランキング3位

【母の父として】 2020年仏BMSランキング2位、2017年仏BMSランキング4位、2019年仏BMSランキング5位、2015年英愛BMSランキング5位

- ◆パンサラッサ: サウジC(沙G1)、ドバイ ターフ(UAE G1)
- ◆アナブルナ: 英オークス(英G1)、ロワイヤリュウ賞(仏G1)
- ◆レガティッシモ: 英1000ギニー(英G1)、ナッソーS(英G1)、メイトロンス(愛G1)

Rey de Oro レイデオロ 鹿毛 2001	King Kamehameha キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo	Mr. Prospector	Raise a Native Gold Digger
	La Dorada ラドラーダ 青鹿毛 2006	*マンファス	Miesque	Nureyev Pasadoble
モンジュー Montjeu 鹿毛 1996		*シンボリクリスエス	*ラストタイクーン	*トライマイベスト Mill Princess
	*レディブロード	Pilot Bird	Blakeney	The Danecur Roberto
Miss Pemberley *ミスペンバリー 鹿毛 2002	ステイツチング Stitching 鹿毛 1992	Sadler's Wells	Kris S.	Sharp Queen Gold Meridian
		Floripedes	Tee Kay	Tri Argo
		*ハイエステイト	Seeking the Gold	Mr. Prospector Con Game
		Itching	*ウインドインハーヘア	Alzao Burgheleere
			Northern Dancer	Nearctic Natalma
			Fairy Bridge	Bold Reason Special
			Top Ville	High Top Sega Ville
			Toute Cy	Tennyson
			Shirley Heights	Adele Toumignon
			Regal Beauty	Mill Reef Hardiemma
			Thatching	Princely Native Dennis Belle
			Alligatrix	Thatch Abella
				Alleged Shore

クロス: Mr. Prospector: S4xS5

## Point

世界を魅了した兄パンサラッサと同じくキングカメハメハ系種牡馬が配された募集本馬は、賢母が送るラストクロップ。小柄で細身に映った幼少期の馬体は春先頃から急成長を見せ始め、各所の肉付きが増すにつれて性格も勇ましくなり、運動量も増加。ミドルサイズの質感あるフォルムへと変貌を遂げている。人に対して従順な態度を示し、初期馴致も大人しくクリアできた経緯は頼もしく、兄姉それぞれが眩い個性を放つ優秀な血脈から、また新たなヒーローの誕生を予感。ダービー馬である父の色合いも濃く、距離の融通性がありそうだ。

## Female Family 母系

※成績は2023年10月2日現在

母 \*ミスペンバリー(02 Montjeu)愛国産、中央・北海道②人着、産駒

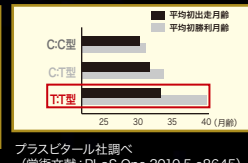
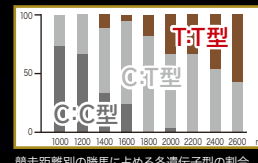
- クリサンセマム(08 牡 黒鹿 ディーブインバクト)2勝
- エタンダール(09 牡 鹿 ディーブインバクト)2勝、山吹賞(芝2200m)、青葉賞-G22着、秩S-OP3着、セントライト記念-G24着
- トロフウィユ(10 牝 鹿 ダイワメジャー)2戦
- マグナムインバクト(13 牡 鹿 ディーブインバクト)1戦、入着
- ディメンション(14 牝 鹿 ディーブインバクト)5勝、トルマリンS(芝1800m)、三面川特別(芝1800m)、柏崎特別(芝1600m)、京成杯オタムH-G32着、阪神牝馬S-G23着、キーンランドC-G33着、関屋記念-G34着、ターコイズS-G35着
- ディアローク(15 牡 鹿 ハーツクライ)入着、東海(公)1勝
- パンサラッサ(17 牡 鹿 ロードカナロア)5勝、中山記念-G2(芝1800m)、福島記念-G3(芝2000m)、オクトーバーS-L(芝2000m)1着1回2着1回、天皇賞(秋)-G12着、札幌記念-G22着、ラジオNIKKEI賞-G32着、関門橋S-OP2着、UAE1勝、ドバイ ターフ-G1(芝1800m)、サウジアラビア1勝、サウジC-G1(D1800m)、⑩
- アシタカ(19 牡 鹿 キズナ)3戦
- ロディニア(21 牡 鹿 キズナ)未出走

祖母 ステイツチング Stitching(92 \*ハイエステイト)愛10戦、産駒

- ストルスナ Strusuna(03 牝 Grand Lodge)不出走、産駒
- スピード オブ サウンド Speed of Sound(13 牡 Until Sundown)伊2勝、Premio Botticelli-L2着、仏5勝
- アガパンサス Agapunthus(09 騾 Daggers Drawn)伊7勝、Premio Giuseppe de Montel-L3着
- トゥルエノ Trueno(99 騾 \*デザートキング)仏1勝、英1勝
- フラヴィウス Flavius(04 牡 Montjeu)英1勝、カタール2勝
- オービュッソン Aubusson(05 牝 Montjeu)愛4戦

曾祖母 イッチング Itching(89 Thatching)不出走、産駒

- グレートデイン Great Dane(95 牡 \*デインヒル)英5勝、Festival S-L, Strensall S-L, Thoroughbred S-L, 仏1勝、アンドレ パボン賞-G3、愛1勝、愛インターナショナルS-G2、種牡馬
- ウィッチングアワー Witching Hour(94 牝 Alzao)英1勝、Doncaster Mile S-L3着、産駒
- ベルヴィアン ウィッチ Peruvian Witch(00 牝 \*ベルジノ)不出走。
- モンテ アルト Monte Alto(04 騾 Danehill Dancer: Meydan Abu Dhabi Champion-ship-L)の母
- アージェント リエゾン Urgent Liaison(93 牝 \*ハイエステイト)不出走、産駒
- イモヤ Imoya(99 牝 \*デザートキング)英1勝、愛入着、Salsabil S-L3着
- ヤハジ Jahazi(03 牝 Green Desert)南アフリカ4勝。
- インディ アンナ Indi Anna(15 牝 Master of My Fate: フラムボワイヤントS-G3)の祖母
- キャパドス Cappadoce(98 牝 General Monash)仏1戦。
- エル トボ El Topo(12 騾 Caradac: Prix Montenica-L)の祖母



競走距離別の勝馬に占める各遺伝子型の割合(プラスビタル社調べ)

プラスビタル社調べ(学術文献: PLoS One.2010.5 e8645)